

平成29年度 第1回 知立市国民健康保険運営協議会 議事概要

1 日 時 平成29年8月21日（月）午後1時30分から2時55分

2 場 所 知立市役所 第6会議室

3 出席委員

公益代表 岩堀 行雄、林 健一、飯田 善賢、毛受 秀之  
医療機関代表 宮本 史生、神谷 雅人、中根 康夫、山田 善也  
被保険者代表 神谷 信懺、河村 京子、鈴木 民樹、高木 清  
事務局職員 中村 明広、寺田 秀彦、川端 淳嗣、神谷 泰光

4 議 題

- (1) 国民健康保険税の改正について
- (2) 平成28年度国民健康保険事業決算見込について
- (3) 平成29年度国民健康保険税の課税状況について

5 概 要

- (1) 市長あいさつ
- (2) 会長、職務代理者選出
- (3) 諮問  
国民健康保険税の改正について
- (4) 会長あいさつ
- (5) 議事録署名者の指名
- (6) 議題（1）について

平成30年度、国民健康保険制度は県域化され、県から示された納付金を納める代わりに、保険給付等に要した費用が県から交付される形式に変わることを事務局より説明した。

2月に県の試算によって示された知立市の仮の納付金は、平成27年度と比較して32%増額。9月に県から新たな試算結果が示される。今後、県が示す数値を基に税率や激変緩和策について、ご意見をいただきながら検討していく。

平成29年度は、基礎課税額の課税限度額の引き上げは行われなかった。

【主な意見・質疑応答】

委 員  なぜ、今まで市町村単位で運営していた国民健康保険制度を都道府県単位で運営することになったのか。

事務局  非常に高額の医療がありうる状況の中、保険者の規模を大きくすることで保険者の財政状況、国民健康保険制度そのものを安定させるため。

議題（2）について

平成28年度の知立市の国民健康保険事業決算見込みを説明した。

歳入総額	6, 151, 418千円	前年比約1億9, 000万円の減少
歳出総額	5, 972, 989千円	前年比1億2, 000万円強の減少
直近5ヵ年度、歳入の減額に比べ、歳出の横ばい状態が続き、実質単年度収支も赤字		

が続いている。

議題（3）について

平成29年度の知立市の国民健康保険の課税状況を説明した。

当初課税 調定額 1, 217, 548千円 前年比約7, 000万円の減少